

# 1 「うまく伝わらない」

## 【ねらい】

- 文字で情報を伝える際に、相手の誤解を生まないか、相手の立場に立って発信することの大切さに気付くことができるようになる。

## 【準備するもの】 ワークシート1

主な学習活動	留意点等
<p>1 日頃の友達とのメッセージのやりとりについて振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 嫌な気持ちになったことや困ったこと</li></ul> <p>メッセージで友達とやりとりする時に大切なことは何だろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 友達からのメッセージで、嫌な思いをしたり、困ったりした経験を思い出させる。</li><li>・ SNS等を利用したことのない児童生徒については、対面でのやりとりを思い出させる。</li></ul>
<p>2 ワークシートのAさんとBさんのやりとりから場面や内容を理解する。</p> <p>(1) Bさんが怒った理由を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 自分の考えを記入し、問題点を確認する。</li></ul> <p>(2) Aさんの「……。」に入る言葉を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 自分の考えを記入し、グループでどのような返し方がよいか考える。</li></ul> <p>(3) メッセージのやりとりをする際に気を付けることを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ (1)、(2)から気を付けることをグループで考える。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 文字だけでは、相手にうまく伝わりにくいことを押さえる。</li><li>・ 情報発信する際には、内容を確認することの大切さに気付かせる。</li><li>・ 自分の気持ちをきちんと伝え、相手の話を聞き、認め合うことの大切さを押さえる。</li><li>・ 反対の意味にとられる表現はどんなものがあるか考えさせる。 (例)「かわいくない」「いいよ」「やばい」など → どんな言葉に言い換えたらよいかも併せて考えさせる。</li></ul>
<p>4 まとめ</p> <p>メッセージのやりとりでは、受け取る相手の気持ちを想像して誤解を生まない文章を送ることや、受け取ったメッセージを見て疑問に思うときには相手に確認することが大切である。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 学級や学年の実態によって、「自分も相手も大切にしたい伝え方」を紹介し合う活動を入れるなどの工夫を行うことができる。</li><li>・ 発達段階に応じて、「いじめ防止対策推進法」を紹介する。 ※ R4版「陽だまり」 p.20 参照</li></ul>

画面上の文字だけでやりとりをする際には、対面のやりとりと同じように、自分の気持ちを相手に丁寧に伝え、相手の気持ちを想像することが大切です。  
日頃から、自他を大切に、違いを認め合う仲間づくりをしていくことが重要です。

## 2 「早く広く伝わる悪口」

### 【ねらい】

○ ネット上に書き込まれた内容はあっという間に広がることを知り、人の嫌がることは絶対に書き込まないこと、拡散しないよう行動することができるようになる。

【準備するもの】 ワークシート2

主な学習活動	留意点等
<p>1 メッセージやSNSのやりとりで、悪口や嫌なことを書かれたことがないか振り返る。</p> <p>メッセージやSNSへの書き込みをする時に大切なことは何だろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>児童生徒それぞれに、1日に何回、何人とメッセージのやりとりをしているのか想起させる。</li></ul>
<p>2 ワークシートで示された場面を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>ロールプレイングを通して状況を確認する。</li></ul> <p>3 「Aさん」、「Bさん」、「まわりの人たち」それぞれの気持ちについて考える。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>吹き出しに自分の考えた気持ちを記入する。</li><li>グループでそれぞれの気持ちについて話し合う。</li><li>グループで話し合ったことをもとに問題点を把握し、全体で共有する。</li></ol> <p>4 活動を通して、気付いたことや思ったことを話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>Aさんは、Bさんから書き込まれた内容に傷ついたことはもちろん、多くの人たちからうわさされたことにも傷ついたことに気付かせる。</li><li>ネット上に書き込む時には、相手のことを思いやることが大切であることに気付かせる。 ※ R4版「陽だまり」p.27参照</li><li>ネット上に書き込んだ内容は拡散され、簡単に削除できないことを知る。</li></ul>
<p>5 まとめ</p> <p>ネット上に書き込んだ内容は、あっという間に広がって簡単には消せない。相手を傷つける書き込みは絶対にしないようにし、誰かの書き込みを拡散した人も、無自覚のうちに加害者になることを理解することが大切である。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>児童生徒が、「他人ごと」ではなく、「自分ごと」として受け止められるように留意する。</li><li>発達段階に応じて、「プロバイダ責任制限法」について紹介する。 ※ R4版「陽だまり」p.13参照</li></ul>

一度ネット上に掲載された情報は世界中に広まります。自分が掲載した内容によって損害賠償を請求されたり、名誉毀損等の罪に問われたりすることもあります。ネット上でも、モラルやルールを守ることが大切です。

### 3 「あなたはだれ？」

【ねらい】

○ 情報社会の特性を理解し、被害に遭わないように安全にインターネットを活用することができるようになる。

【準備するもの】 ワークシート3

主な学習活動	留意点等
<p>1 オンラインゲームやSNSの特徴を考える。            &lt;予想される回答例&gt;            「遠くの人ともやりとりできる。」「いつでもやりとりできる。」</p> <p>ネット上で知り合った人とのやりとりで気を付けることは何だろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実際には会ったことがない人ともやりとりができることを押さえる。</li> </ul>
<p>2 ワークシートで示された場面を理解する。</p> <p>(1) Aさんがこわくなったのはなぜか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の考えを記入し、問題点を確認する。</li> </ul> <p>(2) Aさんのようにこわい思いをしないために、どうすればよいか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の考えを記入し、グループでどうすればよいか話し合う。</li> </ul> <p>3 活動を通して、気付いたことや思ったことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Aさんの友達として、Aさんにどんな声かけをするかについて話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ネット上の相手の情報はうその場合もあることを理解させる。</li> <li>・ ネット上に個人情報を載せたりネット上で知り合った相手に会ったりすることの危険性について理解させる。</li> <li>・ 具体的な犯罪の事例を紹介する。</li> <li>・ Aさんを責める言葉が出てくるとも予想されるが、「こわかったね」とAさんに共感し、「これからお互いに気を付けよう」といった共に成長することの大切さに気付かせる。</li> </ul>
<p>4 まとめ</p> <p>被害者にならないために、個人情報をネット上に載せないことや、ネット上の情報をうのみにすることなくネット上で知り合った相手とは安易に会わないようにすることが大切である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発達段階に応じて、個人情報にはどのようなものがあるか確認させたり、児童生徒の被害事例を挙げたりすることも考えられる。</li> <li>・ 発達段階に応じて、「出会い系サイト規制法」について紹介する。            ※ R4版「陽だまり」p.21 参照</li> </ul>

ネット上のやりとりは、その匿名性などから様々な被害に遭う危険があることを理解させ、インターネットの正しい使い方を学ばせることが大切です。その際、「自分の人権を守る」という意識を児童生徒にもたせることが重要です。

## 4 「ちょっと忘れてただけなのに……」

### 【ねらい】

- SNSの特性を知り、スマホの向こうに相手がいることを意識して利用することができるようになるとともに、いじめられていると感じたときは大人に相談する。

### 【準備するもの】 ワークシート4

主な学習活動	留意点等
<p>1 日頃の友達とのメッセージのやりとりについて振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>嫌な気持ちになったことや困ったこと</li> </ul> <p>SNSでのやりとりで大切なことは何だろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達からのメッセージで、嫌な思いをしたり、困ったりした経験を思い出させる。</li> <li>SNS等を利用したことのない児童生徒については、言葉でのやりとりを思い出させる。</li> </ul>
<p>2 ワークシートのグループトークのやりとりから、場面や内容を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ロールプレイングを通して状況を確認する。</li> </ul> <p>3 Aさん、Bさん、Cさん、Dさんのそれぞれの気持ちや行動について考える。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>自分の考えを記入し、グループで話し合う。</li> <li>グループで話し合ったことをもとに問題点を把握し、全体で共有する。</li> </ol> <p>4 活動を通して、気付いたことや思ったことを話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ネット上の書き込みは、内容がどんどんエスカレートする恐れがあることに気付かせる。</li> <li>「Aさん」対「みんな」になっていることに気付かせる。 ※ R4版「陽だまり」p.27 参照</li> <li>SNSに投稿したものは、自分が削除しても拡散されると完全には消せないことを理解させる。</li> <li>SNSを利用する際には、自分の都合だけでなく、相手の都合も考えることが大切であることを確認する。</li> </ul>
<p>5 まとめ</p> <p>画面の向こう側には、必ず相手がいることを意識してメッセージを送信するようにし、困ったときには一人で悩まず、信頼できる大人に相談することが大切である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>どんなことがあっても、いじめは許されないことを確認する。</li> <li>いじめに遭ったら、信頼できる大人に相談することが大切であることを伝える。</li> <li>日常モラルの大切さを確認する。</li> <li>発達段階に応じて「いじめ防止対策推進法」について紹介する。 ※ R4版「陽だまり」p.20 参照</li> </ul>

SNSを利用している児童生徒は多く、SNSを介したいじめが起りうることから、いじめを許さない態度を児童生徒に身に付けさせるとともに、児童生徒が相談しやすい環境づくりに努めることが重要です。

## 5 「その情報、本当に正しい？」

### 【ねらい】

- インターネット上の差別的な書き込み等の人権侵害の状況について知り、差別に気づき、差別を許さない態度を身に付ける。

### 【準備するもの】 ワークシート5

主な学習活動	留意点等
<p>1 インターネット上の人権侵害の実態を知る。</p> <p>インターネット上の人権侵害を防ぐためには、どんなことに気を付ければよいだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• インターネット上には様々な人権侵害があることに気付かせる。 ※ p.18, 21 参照</li> <li>• 中学校社会科（公民分野）での学習との関連を想起させる。</li> </ul>
<p>2 「部落差別解消推進法」の第一条を読む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 下線部について考える。</li> </ul> <p>【例】「インターネット上に差別的な書き込みがある」 「インターネット上に書き込まれると、拡散される」 「インターネット上の書き込みは、簡単には消せない」など</p> <p>3 なぜインターネット上に差別的な書き込みをするのか考える。</p> <p>(1) 自分の考えを記入し、グループで話し合う。 (2) グループで話し合ったことをもとに問題点を把握し、全体で共有する。</p> <p>4 インターネット上の差別をなくすために、自分ができることについて考える。</p> <p>【例】「インターネット上の情報をそのまま信じない」 「インターネット上の情報を安易に拡散しない」 「差別を見極める力をつける」など</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• インターネット上の情報にはうそやデマ、人を傷つけるような情報等もあることに気付かせる。</li> <li>• インターネットの特性（匿名性や拡散性、記録性等）について押さえる。</li> <li>• 差別は偏見やうわさ等によって起こることを押さえる。</li> <li>• 意図せずに、自分が「差別する側」になってしまうことがあることを理解させる。※ p.27 参照</li> <li>• 発信する際は、発信する情報が正しいのか、その情報で傷つく人はいないのか十分配慮することを理解させる。</li> <li>• 受信者としては、安易に拡散しないことや情報をうのみにしないこと等、批判的思考力や情報を取捨選択する力を身に付けさせる。</li> </ul>
<p>5 まとめ</p> <p>ネット上には誤った情報や差別的な書き込みもある。ネットの特性を理解したうえで、起こり得るリスクに関して想像力を働かせながら、情報を活用することが大切である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「フィルターバブル」や、「エコーチェンバー」の危険性に気付かせる。 ※ p.24 参照</li> <li>※ 正しく理解しないまま、安易に検索することが差別を助長する場合もあることを指導する。</li> </ul>

ネット上の情報に限らず、私たちの周りには誤った情報や根拠のないうわさがあります。その情報が本当に正しいのかを確かめることの大切さを伝える必要があります。また、日頃から、様々な人権問題に対する正しい理解と認識を深めていくことが重要です。

## 6 「私たちの身近にあるヘイトスピーチ」

### 【ねらい】

○ ヘイトスピーチについて知り、ヘイトスピーチを許さない態度を養うとともに、多文化共生社会について考える。

【準備するもの】 法務省マンガ「私たちの身近にあるヘイトスピーチ」  
ワークシート6

主な学習活動	留意点等
<p>1 外国人差別にはどのようなものがあるか考える。</p> <p>ヘイトスピーチをなくすために大切なことは何だろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国籍や外国にルーツがある児童生徒がいる場合は配慮が必要である。</li> </ul>
<p>2 マンガを読み、ヘイトスピーチについて理解する。</p> <p>(1) ヘイトスピーチとはどのようなものか知る。</p> <p>(2) なぜヘイトスピーチが起こるか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の意見を記入し、グループで話し合う。</li> </ul> <p>(3) ヘイトスピーチをなくすために、自分ができることについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(2)で話し合ったことをもとに、自分の意見を記入し、グループで話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>マンガの7ページを読み、どういったものがヘイトスピーチにあたるのか確認させる。</li> <li>差別は偏見やうわさ等によって起こることを押さえる。</li> <li>ネットを介して、不安や嫌悪の感情が拡散していくことを押さえる。</li> <li>海外に行った時や、外国人と親しくなった時などを想像させ、児童生徒が「自分ごと」としてとらえられるようにする。</li> </ul>
<p>3 活動を通して、気付いたことや思ったことを話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お互いを尊重し、多様性を認め合うことの大切さに気付かせる。</li> </ul>
<p>4 まとめ</p> <p>ヘイトスピーチを含む様々な人権問題の解決に向け、お互いを尊重し、違いを認め合うことが大切である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発達段階に応じて、マンガの8ページを読み、「ヘイトスピーチ解消法」について紹介する。</li> <li>※ 安易に検索をすることが差別を助長することになる点についても併せて指導する。</li> </ul>

ヘイトスピーチは、特定の民族や国籍の人たちを排除しようとする意識から起こるものであり、差別的な言動は決して許されるものではありません。日頃から、互いの文化的な違いを認め合い、外国人が安心して生活できるための環境づくりが大切です。